ベネズエラ情勢（内政・外交：令和３年１２月）

１　内政

（１）　新型コロナウイルス感染症対策関連

	新規症例数	累計症例数	新規死者数	累計死者数	累計治癒数
1日	569名	432,514名	6名	5,161名	419,724名
2日	694名	433,208名	9名	5,170名	420,436名
3日	452名	433,660名	7名	5,177名	420,987名
4日	473名	434,133名	9名	5,186名	421,495名
5日	785名	434,918名	7名	5,193名	422,289名
6日	543名	435,461名	9名	5,202名	422,849名
7日	364名	435,825名	6名	5,208名	423,293名
8日	353名	436,178名	8名	5,216名	423,686名
9日	424名	436,602名	7名	5,223名	424,183名
10日	511名	437,113名	6名	5,229名	424,783名
11日	774名	437,887名	5名	5,234名	425,573名
12日	796名	438,683名	5名	5,239名	426,476名
13日	406名	439,089名	6名	5,245名	427,108名
14日	355名	439,444名	5名	5,250名	427,472名
15日	491名	439,935名	8名	5,258名	428,133名
16日	463名	440,398名	7名	5,265名	428,645名
17日	386名	440,784名	7名	5,272名	429,050名
18日	444名	441,228名	6名	5,278名	429,523名
19日	334名	441,562名	7名	5,285名	429,949名
20日	375名	441,937名	6名	5,291名	430,531名
21日	241名	442,178名	8名	5,299名	430,691名
22日	253名	442,431名	7名	5,306名	430,963名
23日	326名	442,757名	4名	5,310名	431,291名
24日	242名	442,999名	2名	5,312名	431,541名
25日	168名	443,167名	1名	5,313名	431,741名
26日	165名	443,332名	1名	5,314名	431,948名
27日	280名	443,612名	2名	5,316名	432,297名
28日	371名	443,983名	3名	5,319名	432,763名
29日	203名	444,186名	2名	5,321名	433,208名
30日	225名	444,411名	3名	5,324名	433,621名
31日	224名	444,635名	4名	5,328名	434,078名

（ア）　４日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、８０％のベネズエラ国民に対する新型コロナウイルス感染症ワク

チンの接種が完了した旨述べた。

（イ） ８日、マルドナド社会主義・領域担当副大統領は、ベネズエラの新型コロナウイルス感染症ワクチン接種率は８０%に達しており、今月末に９０%に達する見込みであると述べた。

（ウ） ９日、パルボサ汎米保健機構（ＰＡＨＯ）副事務局長は、ベネズエラが、１月に、ＣＯＶＡＸを通じて、６００万ドース以上の新型コロナウイルス感染症ワクチンを受領する予定である旨述べた。

（エ） １１日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、約２６１万ドースの露製新型コロナウイルス感染症ワクチンSputnik Lightがベネズエラに到着し、同ワクチンは、ブースター接種のために使用される予定である旨発表した。

（オ） １４日、マドゥーロ大統領は、第２０回ALBA-TCP首脳会議において、資本主義の利益のために、「利益を増やし、世論を操作するために」、新型コロナウイルス感染症の新たな変異株の出現を利用していると疑問視した。

（カ） １６日、マドゥーロ大統領は、ベネズエラにおける新型コロナウイルス感染者数は、１０万人あたり１１人にまで減少している旨述べた。

（キ） １６日、ブリセニョ保健省技術・基準担当次官は、約８２%のベネズエラ国民に対する新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種が完了しており、内約５５%は、２回接種を完了している旨述べた。

（ク） １８日、ベネズエラ航空当局は、コミュニケを通じて、これまで運航が許可されていたトルコ、メキシコ、パナマ、ドミニカ共和国、ボリビア及びロシア間の商用便に加え、キューバ間の商用便の運航を許可する旨発表した。

（ケ） ２０日、ベルムデス保健省集団保健網担当次官は、約１４０万ドースの露製新型コロナウイルス感染症ワクチンSputnik Lightがベネズエラに到着し、同ワクチンは、翌年１月より実施されるブースター接種のために使用される予定である旨発表した。

（コ） ２２日、マドゥーロ大統領は、ベネズエラにおいて、新型コロナウイルス感染症のオミクロン株が７件発見された旨発表した。

（サ） ２４日、マドゥーロ大統領は、２０２２年１月３日より、新型コロナウイルス感染症ワクチンのブースター接種を開始する予定である旨述べた。

（シ） ２７日、マドゥーロ大統領は、新型コロナウイルス感染症のオミクロン株が水際において新たに２件発見された旨発表した。

（ス） ２８日、マドゥーロ大統領は、２０２２年１月以降も、外出規制緩和措置を継続する予定である旨述べた。

（セ） ２８日、アルバラド保健大臣は、１８００万ドースのブースター接種用の新型コロナウイルス感染症ワクチンを確保している旨述べるとともに、同１８００万ドースの内訳は、露製新型コロナウイルス感染症ワクチンSputnik Lightが６００万ドースで、残りが中国製新型コロナウイルス感染症ワクチンであり、同１８００万ドースの内、未だベネズエラに到着していないものについては、２０２２年１月中旬までに到着予定である旨述べた。

（２） バリナス州知事選挙

（ア） ４日、フレディ・スペルラノ元ＭＵＤ候補は、来年１月９日のバリナス州知事選挙に自身の妻であるアウロラ・シルバがＭＵＤ候補として立候補すると発表。５日、アウロラ・シルバ候補は、ＣＮＥに立候補の届出を行おうとしたが、立候補するための資格が無いものとして、立候補できないことが判明。野党側は体制側

を非難。

（イ） ５日、マドゥーロ大統領は、アレアサ産業・国内生産大臣が、２０２２年１月９日に実施予定のバリナス州知事選挙の与党候補者になる旨述べた。

（ウ） ７日、全国選挙評議会（ＣＮＥ）は、プレスリリースを通じて、３０の政党による候補者登録を認めた旨発表。また、マルケスＣＮＥ副委員長は、候補者登録を行った３０政党が登録した候補者は、計７名であると説明。主な候補者は、ＰＳＵＶのアレアサ前産業・国内生産大臣、野党連合（ＭＵＤ）のガリド候補、会派「民主同盟」のフェルミン候補（Soluciones 党党首）等。

（３） その他

（ア） ２７日、グアイド側国会は、オンライン方式にて政権移行法改正案の第１回目の審議を実施し、同改正案を賛成多数で可決した。また、３日、グアイド側国会は、オンライン方式にて同改正案の第２回目の審議を実施し、可決・成立した。

２　外交

（１）　第２０回米州ボリバル人民貿易協定(ALBA-TCP)首脳会議

（ア）　１３日、プラセンシア外相及びマドゥーロ大統領は、第２０回 ALBA-TCP 首脳会議に出席するためにキューバに到着した。

（イ）　１４日、マドゥーロ大統領は、第２０回 ALBA-TCP 首脳会議において、ALBA-TCP の包括的な行動アジェンダと各国元首及び政府の日々の決定との連結を提案するとともに、「我々はさらに一歩踏み出さなければならない。」と強調した。

（２）　第８回ベネズエラ・ベラルーシ・ハイレベル合同委員会

（ア）　１５日、ベネズエラとベラルーシは、ベネズエラにおいて、第８回ベネズエラ・ベラルーシ・ハイレベル合同委員会を開始した。なお、同合同委員会には、メネンデス企画大臣、アダン・チャベス駐キューバ・ベネズエラ大使、ビクトル・シェイマン・ベラルーシ特使等が参加した。

（イ）　１６日、メネンデス同委員会合同委員長（企画大臣）は、第８回ベネズエラ・ベラルーシ・ハイレベル合同委員会において、多様な経済開発における取組及び戦略的な二国間協力のスキームを進展させたと述べた。

（ウ）　１７日、第８回ベネズエラ・ベラルーシ・ハイレベル合同委員会の枠組みにおいて、戦略的な分野における開発、協力関係の強化及び兄弟愛の関係に関する合意に署名した。

（３）　その他

（ア）　１日、モリーナ多国間問題担当外務次官は、Sultan ユニセフ・ベネズエラ事務所長と、ユニセフとベネズエラの協力関係の強化に関し、会合を実施した。

（イ）　１日、ランポジャ当地国連常駐調整官兼人道調整官は、ツイッターを通じて、ベネズエラに向けた国連の協力枠組みを準備している旨述べた。

（ウ）　１日、アレアサ産業・国内生産大臣は、メサ・キューバ建設大臣と、二国間の協力関係の強化に関し、会合を実施した。

（エ）　２日、パドロン観光大臣率いるベネズエラ代表団は、マドリードにおいて開催された第２４回世界観光機関総会に出席した。

（オ）　２日、ピメンタル・アフリカ担当外務次官は、Nkosi 駐ベネズエラ南アフリカ大使に対し、南アフリカによって推進されているニカラグアとの団結のイニシアチブを歓迎する旨述べた。

（カ）　２日、ヌーランド米国務次官は、ツイッターを通じて、メキシコでの与野党間交渉の野党側代表団である統一プラットフォーム代表団と米国にて会談し、ベネズエラ主導の交渉に対する支持等を表明した。

（キ）　３日、プラセンシア外相は、第３回中国・ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体(CELAC)外相会合に出席し、ベネズエラの中国と CELAC の協力関係の強化に対するコミットメントを再確認した。

（ク）　４日、プラセンシア外相は、アマロ駐ベネズエラ・ポルトガル大使と、歴史的な二国間関係の再確認に関し、会合を実施した。

（ケ）　４日、マドゥーロ大統領は、外務省声明を通じて、トルコにおけるエルドアン・トルコ大統領の暗殺未遂を非難した。

（コ）　５日、ボルヘス・グアイド側外交担当コミッショナーは、同職を辞任する旨発表するとともに、暫定大統領府の解消を求める旨述べた。

（サ）　７日、産業・国内生産省は、プレスリリースを通じて、ビオモルジ産業・国内生産省新大臣の任命を発表した。

（シ）　７日、ペニャ中南米担当外務次官は、ベネズエラとキューバの二国間の移民問題に関する対話において、海外における領事サービス及び人流に関する手続きにおける両国間の協力対話は必要不可欠であると述べた。

（ス）　７日、１８７名のベネズエラ人は、祖国帰還計画（Plan Vuelta a la Patria）を通じて、アルゼンチンよりベネズエラに帰還した。

（セ）　８日、マドゥーロ大統領は、外務省声明を通じて、米州機構（ＯＡＳ）及びアルマグロＯＡＳ事務局長によるニカラグアにおいて実施された総選挙を不当であるとする決定を非難した。

（ソ）　８日、９２名のベネズエラ人は、祖国帰還計画（Plan Vuelta a la Patria）を通じて、ペルーよりベネズエラに帰還した。

（タ）　８日、ロドリゲス欧州担当外務次官は、クリエネル駐ベネズエラ独大使と、二国間関係の進展のレビューに関し、会合を実施した。

（チ）　９日、マドゥーロ大統領は、外務省声明を通じて、ペルー政府に対し、アヤクーチョの闘い１９７周年に祝意を表明した。

（ツ）　９日、ベネズエラ政府は、声明を通じて、米国による中国において開催予定の冬季オリンピック・パラリンピック競技大会に対する外交的攻撃を拒絶する旨表明した。

（テ）　９日、グアイド暫定大統領は、バイデン米大統領主催による民主主義サミットに参加し、民主主義の擁護に向けたさらに具体的な５つの行動に関する提案を行った。

（ト）　１０日、体制側国会エネルギー・石油常駐委員会は、トリニダード・トバゴ政府とベネズエラ政府間のエネルギー分野における協力に関する合意を批准した。

（ナ）　１０日、プラセンシア外相は、７日ベネズエラに到着したHadjazi新駐ベネズエラ・アルジェリア大使から信任状の写しを受領した。

（ニ）　１０日、体制側国会は、バルエタ駐セントルシア・ベネズエラ大使、シルバ駐ガイアナ・ベネズエラ大使、コルデロ駐トリニダード・トバゴ・ベネズエラ大使の任命を承認した。

（ヌ）　１０日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、体制側国会において、２０２２年の予算の７７％は、社会投資に向けられると述べた。

（ネ）　１１日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、ベネズエラ訪問中のチョケワンカ・ボリビア副大統領と、団結、兄弟愛、統合に向けた取り組みの重要性に関し、会合を実施した。

（ノ）　１３日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、オランダが、ベネズエラ政府代表団のカーン国際刑事裁判所検察官の訪問を目的としたハーグへの訪問を妨害したと非難した。

（ハ）　１４日、アモロソ会計検査院長は、国連腐敗防止条約署名国会合において、米国をはじめとする世界のいくつかの政府によって実施されているベネズエラの外国資産の略奪を非難した。

（ヒ）　１４日、ロドリゲス・アジア・中東・オセアニア担当外務次官は、Nazahariイラン外務省米州局長と、二国間関係及び両国の開発に向けて取り組むというコミットメントの再確認に関し、会合を実施した。

（フ）　１４日、トロンピス駐ボリビア・ベネズエラ大使は、チョケワンカ・ボリビア副大統領と、両国間の戦略的な協力関係の強化に関し、会合を実施した。

（ヘ）　１４日、ラ・グアイラ州において、国際観光フェアが開始した。また、１６日、マドゥーロ大統領が同国際

観光フェアに参加した。

（ホ） １５日、ロドリゲス・アジア・中東・オセアニア担当外務次官は、Al Saad 駐ベネズエラ・サウジアラビア大使と、二国間の協力関係及び兄弟関係の再確認に関し、会合を実施した。

（マ） １７日、ビオモルジ産業・国内生産大臣は、南アフリカの企業 Eqol の代表者と、二国間の協力関係の強化に関し、テレビ電話方式にて会合を実施した。

（ミ） １８日、プラセンシア外相は、ツイッターを通じて、フィリピンを通過した台風によって生じた被害に関し、フィリピン国民及び政府に対する団結の意を表明した。

（ム） １８日、プラセンシア外相は、国際移民デーの機会に、ツイッターを通じて、移民の人権の尊重及び外国人差別の停止を要請した。

（メ） １９日、マドゥーロ大統領はツイッターを通じて、チリ大統領選挙において勝利したボリッチ氏に対する祝意を表明した。

（モ） ２０日、ベネズエラ政府は、同日付外務省声明を通じて、イングランド銀行に預託されている金へのアクセス権を巡る英最高裁判決に対する拒絶を表明した。

（ヤ） ２１日、モリーナ多国間問題担当外務次官は、メリク・バグダサロフ駐ベネズエラ・ロシア大使と、広範な多国間協力のアジェンダのレビュー及び評価に関し、会合を実施した。

（ユ） ２２日、マドゥーロ大統領は、エルドアン・トルコ大統領と、共同開発のための協力分野で前進する必要性に関し、電話会談を実施した。

（ヨ） ２２日、エル・アイサミ経済担当副大統領は、リマ赤道ギニア鉱物・炭化水素大臣と、炭化水素分野における協力関係の強化に向けて機密保持に関する合意に署名した。

（ラ） ２７日、マドゥーロ大統領は、アルマヤディーン放送局による独占インタビューにおいて、イランとベネズエラの二国間の全ての分野における協力プロセスの加速に向けて、近々イランを訪問する予定である旨述べた。

（リ） ２８日、ジャネス駐ペルー・ベネズエラ大使は、マウルトゥア・ペルー外相に対し、信任状の写しを提出した。

（ル） ２９日、モリーナ多国間問題担当外務次官は、バエック国際赤十字委員会ベネズエラ事務所長と、２０２１年の赤十字のベネズエラに対する協力及び技術援助の総括に関し、会合を実施した。

（了）